2024 年度 事業報告書

I. 事業状況

山岡記念財団は、2016年11月に創設され、「日本及びドイツ並びに欧州の学術及び文化の交流を行い、もって日本及びドイツをはじめとする欧州の社会の持続的な発展に寄与する」とした定款第3条に基づき「学術」「芸術」「スポーツ」「人的交流」の4つの事業に分類し、学術及び文化交流事業活動を行った。以下に事業活動の概要を報告する。

1. 事業活動の概要

【学術事業】

(1) 「第7回 科学技術講演会」

- 1) 開催日時： 2024年10月21日(月) 16:00~19:00
- 2) 場 所： ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川
- 3) テーマ： 「持続可能な社会に向けた食と農林水産業のあり方」
サブテーマ： 「持続可能な社会を目指した森林と人との共生に向けて」
- 4) 講演者： ・太田 昇 氏
(岡山県 真庭市長)
・オラ・リンドルス 氏
(スウェーデン農業科学大学 森林管理学教授)
- 5) 総合討論： [モデレーター]法貴 誠 氏
(三重大学 名誉教授)

今年は京都大学国際科学イノベーション棟が予約できず、ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川にて、オンラインを併用したハイブリッド式の開催とし、国内外合わせて71名が参加した。

(6) 奈良フォレスターアカデミー訪問(翌日10月22日)

講演会の翌日、リンドルス教授及び法貴教授とともに、森林環境管理を担う人材養成機関である奈良フォレスターアカデミーを訪問、吉野杉の森林を視察するとともに、アカデミーにて、リンドルス教授による特別講義が行われ、参加した生徒たちと活発な意見交換会を開催した。

(2) 「第8回 若者文化シンポジウム」 —研究助成成果発表会—

- 1) 開催日時： 2025年3月12日(水) 15:00~19:30
- 2) 場 所： ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川
- 3) テーマ： 歴史が紡ぐ日独の文化
- 4) 研究者： ・櫃割 仁平 氏
(ヘルムートシュミット大学ポスドク研究員/
日本学術振興会海外特別研究員)
テーマ：「日本舞楽鑑賞時の感情的反応に関する日独文化比較研究」

・スティーブン アイビンス 氏

(京都大学 准教授)

テーマ：「ドイツと日本における戦後移民の文化的記憶」

・劉 カイウエン 氏

(東京大学大学院 学際情報学府 博士課程)

テーマ：「アートと政治の境界をめぐる交渉：日独比較」

・ベン メラー 氏

(オックスフォード大学博士課程)

テーマ：「日本とドイツの士官学校における反軍国主義と
再軍備の共存」

・ジャスミン ルッカート 氏

(デュッセルドルフ・ハインリッヒ・ハイネ大学講師、博士課程)

テーマ：「対立から理解へ：日本とドイツの博物館が子ども
たちに戦争を教える戦略」

進行：吉田 純 氏 (京都大学大学院 環境学研究科 教授・
山岡記念財団諮問委員)

5) 参加者 : 78 名 (オンライン参加含む)

●次年度研究助成採択者

①鈴木 修斗 氏 (東海大学 教養学部人間環境学科 特任助教)

研究テーマ：「日独におけるツーリスティフィケーションの大都市周縁部への
拡大に関する研究—東京とベルリンにおける「蚤の市」の観光
地化に着目して—」

②照井 敬生 氏 (同志社大学 客員研究員)

研究テーマ：「生成 AI と著作権・独創性の意識に関する日独若手アーティスト
比較研究」

③根岸 貴哉 氏 (立命館大学大学院 先端総合学術研究科 研究指導助手)

研究テーマ：「E-Sports とゲーム実況における日独間比較」

④リ イーノン 氏 (名古屋大学大学院 人文学研究科博士課程学生)

研究テーマ「国境を越えた空間と芸術的コミュニティ：日本とドイツ語圏に
おけるディアスポリックな文化参加」

【芸術事業】

(1)「第6回 スペシャルコンサート in ヤンマーミュージアム」

1) 開催日時： 2024年7月14日(日) 14:00~15:30

2) 場 所 : ヤンマーミュージアム

3) 演奏者 : 大阪フィルハーモニー交響楽団メンバー 他

4) 入場者数 : 134名

(2)「中学校吹奏楽部生徒への楽器クリニック&アンサンブル演奏会」(長浜市)

- 1) 開催日時 : 2024年8月18日(日) 9:45~15:45
- 2) 場所 : 長浜北高等学校、長浜西中学校
- 3) 講師 : 大阪フィルハーモニー交響楽団メンバー 他

(3)「第8回 中学・高校吹奏楽部公開レッスンコンサート」(尼崎市)

- 1) 開催日時 : 2024年11月3日(日) 14:00~17:00
- 2) 場所 : あましんアルカイックホール
- 3) テーマ : クラシック音楽を通して音楽の素晴らしさを分かち合おう!
- 4) 出演者 : 指揮者 寺岡 清高氏
(第1部)
尼崎県立園田中学校 / 尼崎市立塚口中学校
(第2部)
尼崎市立尼崎双星高等学校
<支援参加>
大阪フィルハーモニー交響楽団メンバー 他
- 5) 課題曲 : 第1部 バイエルン分列行進曲 — アドルフ・シェルツァー
第2部 シバの女王ベルキス — オットリーノ・レスピーギ
- 6) 入場者数 : 653名

(4)「アート・デザイン・ものづくりのためのラボ」

- 1) 開催日時 : 2024年4月~2025年3月
- 2) 場所 : 京都市内、尾道市内

《実施内容》

2021年度からの継続事業として、今年度も上記3つのプロジェクトに加え尾道でもひとつ展示を行った。

- ① タイトル : ユートピアシアター／村としての劇場
バーバラ・エーネス&マックス・カルラ・アッシュンブレナー／
横山竹材
- ② タイトル : デジタル&アナログ建築プロジェクト
ハネス・マイヤー&アンスカー・シュタウト／匠弘堂
- ③ タイトル : 暮らしと日常の中のデザイン (～SUITEKI オブジェの展示)
カイ・リンケ／佐藤清松商店

(5) 小学校での音楽アウトリーチ (長浜・尼崎)

- 1) 開催日時 : ① 2024年10月28日(月) 9:30~11:20
② 2024年10月30日(水) 10:45~11:20
- 2) 場所 : ① 長浜市立高月小学校
② 私立百合学院小学校 (尼崎)

3) 出演者 : ターリストリオ

《実施内容》

各小学校体育館にて、ヴァイオリン、チェロ、ピアノの演奏会を実施した。演奏終了後はアウクスブルクについてのクイズや質問コーナーを設け、子供たちからの質問が飛び交い、ドイツへの好奇心や外国の文化に触れるきっかけの場となった。

高月小学校では最後に全員で校歌を合唱、また百合学院ではアベマリアを合唱し、盛り上がりのあるアウトリーチとなった。

(6) ポラリス音楽祭

1) 開催日時 : 2024年10月19日(土)~10月20日(日)

2) 場 所 : 吹田市文化会館メイシアター

《実施内容》

音楽監督の岡原慎也氏が中心となり立ち上げられたイベントで、次世代を担う子どもたちをはじめご来場の方々に、クラシック音楽を身近に感じていただくことを目的として、賛助会員やグループ社員とその家族を中心に招待した。

【スポーツ事業】

(1) セレッソ大阪アカデミー U-13 スペイン遠征

1) 日 程 : 2024年9月2日(月)~9月10日(火)

2) 場 所 : アルネド(スペイン)

《実施内容》

世界の強豪チームと対戦することで世界レベルのサッカーを体感し、世界で戦える選手を目指すことを目的にセレッソU-13がスペイン遠征(アルネド)を行った。

アルネドカップには、セレッソ大阪として参加9回目となり、昨年と同様、決勝トーナメント進出、そして決勝の相手は宿敵バルセロナ、見事2-1で勝ち切り、完全アウェイの地で優勝カップを持ち帰った。

【人的交流事業】

(1) 賛助会員年次総会

1) 開催日時 : 2024年6月6日(木)16:00~18:00

2) 場 所 : ヒルトン大阪

3) 講 演 : ヴィリー フーバー 氏(ツィター演奏者・作曲家)

講演テーマ : 「ツィターの発展と歴史について」

4) コンサート : 大阪フィルハーモニー交響楽団メンバー 他

5) 参加人数 : 139名

《実施内容》

まずは司会より役員紹介、次に山岡理事長挨拶、雪野常務理事から事業報告

をした後、フーバー氏より講演、そしてツイッターのアンサンブルが披露され、その後、懇親会を開催した。

一方で、懇親会を含めると4時間近く時間がかかることもあり、次年度は総会懇親会として開催することで時間を圧縮する予定。加えて、参加者については、ドイツ総領事館や大阪日独協会等に働きかけ、ダイバシティを意識した総会としたい。

(2) ヴィラ鴨川 クリスマスマーケット

- 1) 開催日時： 2024年11月30日(土) 11:00~18:00
- 2) 場所： ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川
- 3) 来場者数： 約3,000名

《実施内容》

今回が6回目のマーケットは、ヴィラ鴨川の人気イベントとしてかなり定着してきた。今年はKBS京都テレビとNHKからの問い合わせもあり、番組中でもマーケットの様子を取材してもらった。スタンドを出店しているお店からも、早々に商品が完売したという声が多く出て、例年並みか、もしくはそれを上回る盛況ぶりであった。

(3) 出会いの場 (Korrelationen)

参加型インスタレーション 霧の中で／明鏡

- 1) 開催日時： 2024年4月12日(金) 11:00~20:00
- 2) 場所： ゲーテ・インスティトゥート ヴィラ鴨川

《実施内容》

ヴィラ鴨川にレジデンス滞在していた演出家・舞台美術家、ティルマン・ヘッカー氏が、音楽とビデオを使ったインタラクティブ・参加型のインスタレーションを制作し、ヴィラ鴨川のホールで披露した。約50名の来場者があり、モニターから流れる音や映像を感じながら、その場にある楽器を奏でたり、マイクで音を発したり、思い思いに参加した。

(4) ドイツ総領事館 150周年事業

- 1) 開催日時： 2024年5月10日(金) 18:30~22:30
- 2) 場所： 大阪中之島美術館

《実施内容》

クレーメンス・フォン・ゲッツェドイツ駐日ドイツ大使をはじめ、多くの方々が来場し、歴史を振り返りながら未来への希望を語り合う、イベントを開催、財団にとっても大変貴重な機会となったイベントであった。

また、ベルリンを拠点としながら世界各地で活動中のアーティストグループ「Tape That」がマスキングテープを用いて大阪駅にて、アートを創作した。これらのイベントに対し、助成を行った。

(5) ヤングリーダーズフォーラム

1) 開催日時： 2025年2月28日(金)～3月9日(日)

2) 場 所： 東京

《実施内容》

ドイツから8名、日本から4名の計12名(ヤンマーグループからはエネルギーシステムから1名)が参加し、「レジリエントな民主主義」をテーマとして、民主主義を研究する大学教授・専門家・活動家等の講義を受け、その上で、フィールドワーク・チームディスカッション・日独の比較分析を通して理解を深めた。また、過去のフォーラム参加者のアルムナイネットワークがあり、交流イベントも行われた。

2. その他活動

(1) 賛助会員募集

2016年12月から募った賛助会員は、2025年3月現在、法人165社、個人45名の計210会員となった。